

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あおい常滑						公表日	令和7年 12月 25日
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 少し狭い気もするが、子供と過ごしていると全体に目を配れるスペースに思う。 部屋が分けられているので、使い分けられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用人数が12名を超えるとスペースに狭い感じる。 利用人数によりスペースが手狭なため、物の配置を見直したい。 利用定員が多い日があり、スペースが狭い。 強度行動障害児の隔離スペースが、一定の場所に定められていない。 静かに過ごす分には良いが、ドッジボール等やるには狭い。 一日の利用定員は多いと思う。 利用人数が多いとスタッフも多くなるため、狭くなる。 	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 適切であるときもあるが、少なくなってしまうときもある。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的には適切だが、日による。 厚い支援が必要な子供が多い日には、特に人手不足を感じる。 手のかかる利用者がいるため、内容による職員配置をしてほしい。 子供の数が多すぎると、支援内容の希薄にもつながると思う。 	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> なるべく物を置かないように工夫されている。 目で見て分かりやすいようイラスト化している。 		<ul style="list-style-type: none"> 大ホール、小ホール間を自由に行き来できるため、区切られているということが意識しやすい。 動線が散らばっているため、掲示物等で誘導できるよう構造化したい。 小ホールと大ホールの間に壁があるため、全員が見にくく。 強度行動障害児の隔離スペースが、一定の場所に定められていない。 和室に段差あり。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 下の絨毯が古いような気がするが、その他は心地よいのではないか。 机を拭くときは消毒したり、掃除したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 大ホールのカーペットが掃除しにくく、清潔を保つことが難しい。 掃除はしているが、どうしてもカーペットの汚れや劣化が目立ってしまう。 冬は床からの冷気が来るため、足が寒い。 エアコンの掃除は、細部にはこりが多いため業者に頼んだ方が良い。 	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 和室にて対応している。 和室があるので、個別対応できる。 和室、部屋の角の使用になっており良いと思う。 個別になりたかったらスタッフに相談して和室に行き、一人になれる環境がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 和室は個別のスペースを確保できるが、他に部屋がないため十分ではない。 	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 全員出勤の日に行っている。 活動等計画をして行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 入職して間もなく、週2勤務のためまだ詳しいことが分からぬいたが、されているように思う。（以下10まで同様） 	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせの際に共有している。 		<ul style="list-style-type: none"> 分からない。 	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 平日はスタッフでミーティングをして情報共有をする。 			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7	3	0			<ul style="list-style-type: none"> 実施していない。 入社間もないため、よく分からない。 分からない。 	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> メール等で連絡がある。 研修をして、こういう場合にはどうするか学べる機会がある。 資格を取った人が増えた。 		<ul style="list-style-type: none"> 入社間もないため、よく分からない。 	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 子供と触れ合う時、そのように感じる。 何をするか紙にして共有する。 			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 常勤の職員がやってくれている。 面談をして、その子に合った計画を作成している。 			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 常勤の職員がやってくれている。 個別支援計画を見て、職員がその子はどこまで達成できているか記入している。 			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の実施記録等で、されていると感じる。 当日やることの共有を行い、支援している。 			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 半年の個別目標を入力した用紙を添付し、利用者の目標を分かりやすくしている。 どういう行動をしているか確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 導入可能なアセスメントツールがまだあると思われるが、十分な活用には至っていない。 アセスメントツール等もっと活用できれば良いと思う。 	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	1	0	・実施記録のところに設定されている。 ・支援内容が設定され、それが達成できるように支援できる具体的な内容が書かれている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	2	0	0	・活動会議を毎月チームで行っている。 ・毎月会議を行い決めている。 ・常勤の職員がやってくれている。 ・担当者が変わっているのでチームで行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	0	0	・常勤の職員がよく考えてくれている。 ・月毎にさまざまな活動がある。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	0	0	・行っているように感じる。 ・個別でできるものもあれば、集団で協力して行う活動もある。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	0	0	・毎日打ち合わせをしている。	・平日は打ち合わせをしているが、土曜日はパートは難しい場面がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	6	2	0		・支援の振り返りをしているが、対応の改善など話せる内容はまだ多い。 ・送迎に行うため、十分できないこともある。 ・パートは先に帰るため参加していない。 ・パートは時間になると帰るので、その日中には振り返りを共有できない。 ・パートだと社員と帰る時間が合わないため、共有や振り返りは難しい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	0	0	・他のスタッフの記録を見ることにになり、つなげていると思う。 ・記録を取り、次の支援に役立つようにしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	2	0	0	・今の支援はその子に合っているか、半年経つごとに見直している。	・常勤の職員がやっていると思うが、よく分からない。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	4	1	0		・常勤の職員がやっていると思うが、よく分からない。 ・分からない。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	2	0	0	・そのように接しているつもりではあるが、よく分からない。 ・おやつを自分で選んだり、活動でさまざまな大量を選べるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	4	0	0		・常勤の職員がやっていると思うが、よく分からない。(以下30まで同様) ・分からない。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	5	1	0	・学校の先生と連携して支援をしている。	・特に地域の医療機関との連携が少ない。 ・医療機関とは連携できていない。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	8	0	0		・直接学校から下校時間を聞けないため、保護者に依頼する形になっている。 ・下校時間について学校と共有できていない。 ・保護者頼りになっている。 ・子供の下校時刻が違ってしまっているときがある。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	7	1	0		・新規利用の児童について、直接幼稚園等やり取りできるといい。 ・分からない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	5	1	0		・分からない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイ・オフや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	5	0	・研修を受けられる機会がある。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	6	0	・機会があれば、子供にも刺激があって良いと思う。	・半田の事業所と交流することははあるが、地域との合同活動はない。 ・地域での交流は行っていない。 ・地域の子供たちと活動する機会はない。 ・たまに公園に行き話す子供もいるが、その子次第の関わりしかない。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	3	1		・参加できていない。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	2	0	0	・子供の変化があれば、送迎スタッフに伝えてもらうようにしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	7	0	0		・研修の案内等は行っているが、直接開催したことはない。 ・分からない。
36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	4	0	0	・支援プログラムに丁寧にその子に合った支援内容が書かれている。		

保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	2	0	0	・面談を行い、確認している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	4	0	0	・説明を行い、同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1	0	0	・相談に対応し、必要であれば面談をしている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8	3	0	・多分されていないが、可能であれば良い機会に思う。	・年に一回程度、保護者参加のプログラムを設定したが、まだ十分ではない。 ・保護者会は行っていないが、夏祭りや年度末のイベント等の保護者を交えた活動は行っている。 ・入社間もないため、よく分かららない。 ・そういう機会があるのか分かららない。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	3	0	0	・苦情があった場合には、共有をして対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	2	0	0	・ホームページに行事で行ったこと等載せたりしている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	2	0	0	・気をつけて接している。 ・部屋から出るときには必ず鍵をかけている。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	1	0	0	・気をつけて接している。 ・どうしたら分かりやすいか考えて伝えている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	3	1		・地域住民の招待は行っていない。 ・分かららない。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	1	0	・参加したり、他のスタッフから話を聞いたりしている。 ・災害等の訓練をし、スタッフも緊張感を持ち行っている。	・現在見直しをしている。 ・今後も毎年見直しをしていく。 ・呪吐物の処理のマニュアル、グッズが欲しい。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	2	0	0	・参加したり、他のスタッフから話を聞いたりしている。 ・訓練をしている。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	2	0	0	・変化があったら、打ち合わせで共有する。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	3	0	0	・冷蔵庫に名前と品物を貼り、分かりやすくなっている。	・分かららない。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	3	0	0	・常勤の職員が作った資料や話を聞いて、気をつけようになっている。（以下54まで同様） ・研修等で安全について知り、支援を行う。	
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	6	0	0		・避難訓練の詳細等、保護者に周知していく。 ・分かららない。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	0	0	・何かあれば記入し、スタッフが誰でも見られるところに共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	3	0	0	・研修により適切な対応の仕方を学べる。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	4	0	0	・身体拘束を行わないといけない子供がいたときには、きちんと記載をしていつ行ったのか記録できるようになっていた。	